

IV 特別企画開催報告

「神川塾」開催記録

神川 明彦（明治大学附属明治高等学校・中学校サッカー部総監督）

2019年11月16日に開催された明治大学教育会総会・研究大会の分科会にて、明治大学附属明治高等学校・中学校サッカー部での指導方針や指導内容について発表する機会に恵まれました。当日は多くの方にお越しいただき、とても有意義かつ刺激的な会合になりました。

その会合での反響に応える形で、2020年2月9日に「神川塾」と題して実際のサッカー部の練習を視察していただくことになりました。

当日は、参加者の皆様により理解を深めていただくために、第一部：講義編、第二部：実技編という構成としました。第一部の講義編で使用した資料を今回の紀要に掲載しています。


第二部ではグラウンドレベルで実際の練習を観てもらいました。

選手たちの息遣いやわたしとのコミュニケーションの回り方などを間近で体感することで、講義編の内容がより明確に伝わったのではないかと思います。

わたしにとっても日常的に実行していることをあらためて見直す貴重な機会になりました。

ご参加いただいた先生方とは現在も連絡を取り合っており、お互いを勇気づけ合う素敵な仲間になりました。

「神川塾」開催にあたり、ご尽力いただいた全ての方々、遠方から参加いただいた方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました！


2019年度 明治大学教育会
「部活指導見学会」
 2020年2月9日(日)13:00~16:50
 明治大学付属明治高校・中学校サッカー部
 総監督 神川 明彦

1

サッカー部の概要

- ・1996年 高校サッカー部創部 ※初代顧問・田中徹太郎先生
- ・2004年 中学サッカー部創部 ※初代顧問・清水克悦先生

- ・部員数(2020年2月8日時点)
 - 高校 52名(中3 10名 1年 28名 2年 14名)
 - 中学 44名(1年 20名 2年 24名)
- ・スタッフ10名(顧問4名 専門4名 学生2名)
- ・最高成績 高校:東京都大会ベスト16(2017年度関東大会予選)
 中学:東京都大会ベスト16(2018年度新人大会) 2

サッカー部員の特徴

強み

- ・まじめ
- ・理解力高い
- ・反復を嫌がらない

弱み

- ・身体能力低い
- ・技術力低い
- ・応用力、発展性に欠ける

→目指すスタイル

- ・技術力と戦術遂行力を高めて、攻守にわたり組織的に戦う
- ・粘り強く、あきらめず、最後まで全員で戦い抜く

3

サッカー部の活動スケジュール

月:OFF/疲労回復 リフレッシュ
 火:MTG/ふりかえり 目標・スケジュール確認
 水:練習/高強度
 木:練習/中高強度
 金:練習/中高強度
 土:練習or試合/セットプレー&調整
 日:試合

4

サッカー部の指導方針

「サッカーの本質を追求」
 →「ゴールを奪い、ゴールを守る」「3原則の徹底」「いい守備からいい攻撃へ」

「M-A-T-A-Mメソッドの実践」
 →練習時間と試合出場機会の確保

「正当な競争と公正な評価」
 →ボール、少人数、短時間、練習強度

「学べる相手と試合を組む」
 →貴重な時間をより貴重な時間へ

5

サッカー部の活動内容

練習の組み立て→「ゲーム分析・評価」→練習内容を決定

- ①トレーニングの原則に従って構築
 「意識性」「全面性」「漸進性」「個別性」「反復性」
- ②1日の練習の順序
 W-UP TR1(個人技術) TR2(グループ戦術) ゲーム C-DW
- ③練習方法の設定
 判断の有無 対敵動作の有無 攻守切替の有無 方向性の有無 ゴールの有無
 →完璧な練習方法は存在しない。
 →練習方法の特徴を把握し、「その練習で獲得できること、獲得できないこと」を理解していることが大切。
- ④練習設定時のポイント
 テーマスペース 用具数 選手・スタッフ数 時間配分 天候 疲労度・他多数あり

6

本日の練習内容

テーマ:日曜日→試合

W-UP:個人技術/パス&コントロール/
 (20分)判断一部あり 対敵動作なし 切替なし 方向性あり ゴールなし

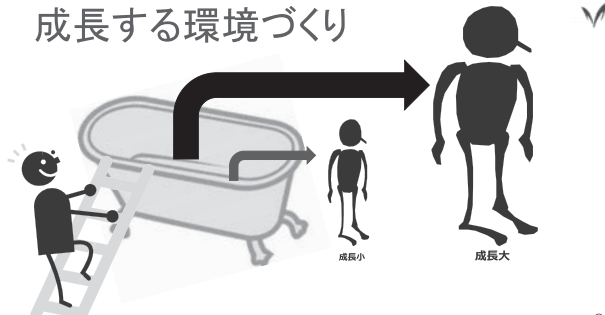
TR1:グループ戦術/ボールポゼッション/
 (20分)判断あり 対敵動作あり 切替あり 方向性なし ゴールなし

TR2:グループ戦術/対人プレー/
 (20分)判断あり 対敵動作あり 切替あり 方向性あり ゴールあり

Game:チーム戦術/11vs11
 (50分)判断あり 対敵動作あり 切替あり 方向性あり ゴールあり

7

成長する環境づくり



8

サッカー部の活動内容 ✓

- 学校の校訓、教育方針に沿った活動
- ピッチ内外における活動方針および目標
- 選手たちが話し合っ「チーム目標」を設定
- 論理的考働力の追求と実践

9

サッカー部の活動内容 ✓

- 学校の校訓、教育方針に沿った活動

校訓 「質実剛健」「独立自治」
 ※中身が充実して飾り気がなく、心身ともに強くたくましいさま。

4つの力「洞察力」「実践力」「社会力」「精神力」

10

サッカー部の活動内容 ✓

- ピッチ内外における活動方針および目標

「チーム一丸」「考える力」「感謝の気持ち」
 「高い次元での文武両道を実現」

「ゴールを奪い、ゴールを守る」「3原則の徹底」
 「いい守備からいい攻撃へ」

11

サッカー部の活動内容 ✓

- 選手たちが話し合っ「チーム目標」を設定

行動指針 声かけとコミュニケーションで意識を高めあう集団を作る

ピッチ内 目的、気持ちをもって練習に取り組む
 メリハリのある行動をする
 積極的な声かけとコミュニケーション

ピッチ外 整理整頓、身だしなみ、連絡の徹底
 サッカー部としての自覚をもって行動する
 日頃から勉強する

大会目標 T4リーグへの昇格
 都大会出場

12

サッカー部の活動内容 ✓

- 論理的考働力の追求と実践

社会活動の全てに応用できる力

24時間をデザインし、実行し、継続する

M-A-T-A-Mメソッドの導入
 →映像分析ソフト「スプライザ」の活用

13

論理的考働力の追求と実践 ✓

考える力
 ×

実行する力
 ×

継続する力

現状 → ギャップ → 目標理想

14

論理的考働力の追求と実践 ✓

M-A-T-A-Mメソッド

```

  graph TD
    T[T練習] --> R1[R振り返り  
(チーム/グループ/個人)]
    R1 --> A1[A分析・評価]
    A1 --> M[M試合]
    M --> R2[R振り返り  
(チーム/グループ/個人)]
    R2 --> A2[A分析・評価]
    A2 --> T
  
```

15

成果と課題 ✓

- 成果

- ①競技成績の向上
 →トーナメント大会上位進出、リーグ戦カテゴリー上昇など
- ②学業成績の向上
 →部活停止者の減少、他大学受験合格など
- ③全部員に公式戦出場機会確保
 →目的意識、強みの発揮、課題解決力向上など

16

成果と課題



•課題

- ①言われたことはできる 言われないとできない
- ②根強い現状維持思考～井の中の蛙状態
- ③二者択一の思考と行動

17

課題解決に向けて



•方策

- ①さまざまな方法・手段で「外」に出す
- ②できるかぎり「情報」を与えない
- ③選手の「挑戦」や選手の「提案」を応援する

18

最後に



「すぐ役立つことは、すぐ役立たなくなる」

「学ぶことをやめたら、
教えることをやめなければならない」

「共に学び、共に歩む」

ありがとうございました！

19

明治大学教育会 「神川塾」受講後アンケート

| |
|---|
| 1 今回の神川塾を受講しての感想 |
| <p>まず、神川先生の綿密な部活動への準備にとっても驚きました。とても多忙な仕事の中で、ここまですごい資料を用意し、指導も丁寧、かつきめ細かい指導をされている姿勢にとっても感動しました。自分自身が部活動に臨むにあたり、神川先生のように、一人ひとりを適切にみとり、個に応じて具体的に支援しているとは言えないので、チームとしての目標設定や、練習メニューの作成など、細かい部分から突き詰めて指導していきたいと思いました。また、最新の指導理論も教えて頂き、大変参考になりました。頂いた資料を読み込み、自分の指導の糧としたいです。</p> |
| 2 神川塾での講義をふまえて、今後の教育活動でどのように実践していくか |
| <p>まず、部活動においては、日頃惰性やその時の気分・雰囲気決めていたこともある練習内容を見直し、短期・中期・長期的視点から俯瞰した練習メニューの策定に努めていきたいと思います。また、生徒たちの強み・弱みを分析した上で成長して欲しい姿を明確に持ち、より生徒に即した指導を心がけていきたいと思います。学習指導や担任としてとても参考になったのは、反省と振り返りを充実させていくことです。今まで、あらゆる場面において振り返りの重要性については大変承知していましたが、徹底できていない部分がありました。今回の講習会を経て、今までの指導の至らなさを痛感しました。振り返りを充実させることで、生徒に学びの実感をさせるとともに、よりレベルの高い目標を追究させていきたいと思います。</p> |
| 3 本日の講義全体の感想 |
| <p>今回の神川塾を受講させていただいたことで、部活動の指導の姿だけでなく、自身の教育活動全般について大きく見直すきっかけとなりました。学んだことや、今後どのように実践していくかについては上の項目に書き切れないほどでした。それほど今回の講習会は非常に学びが多いものでした。今後またこのような講習会がありましたら、是非とも都合をつけて参加させていただければと思います。また、今後、神川先生、田中先生のように、明大OBの教職員のサポートをできるよう、私も教育実践を積み重ねていけたらと思います。</p> <p>今回はこのような貴重な機会をご用意いただいた神川先生、田中先生、そして明治大学教育会の事務局の皆様へ深く感謝いたします。本当にありがとうございました。</p> |
| 4 今後の明治大学教育会との関わりについて |
| <p>①11月の教育会総会での発表</p> <p>先日の高野先生の授業の中で興味を持っていただいた「福島県の復興の現状・福島県ならではの教育実践」について発表できたらと思います。ただいま少しずつ資料集めを行い、準備しています。</p> <p>②若手教職員・教職課程履修生との交流会</p> <p>同じ平成25年度卒業の高校の教員と相談しました。教員として経験談をお話することで、若手教職員で悩みを共有したり、学生の皆さんへの助けとなったりできるのではとお思いました。先日2人とも教職課程の授業で発表する機会を頂いたのでこちらでしたらスムーズにできるかと思います。</p> <p>③支部創設について</p> <p>福島県のOBに声をかけているところです。数はかなり少ないですが、協力できそうです。</p> |

明治大学教育会 「神川塾」 受講後アンケート

| |
|---|
| 1 今回の神川塾をふまえての感想 |
| <p>神川塾を受講してみて、私は野球部出身のサッカー部の顧問ということで、正直、手探りで生徒たちとかかわってきたところがありました。しかし、今回の講義を受講し、今まで自分に見えなかったものもそうですし、自分の中にぼんやりと思い描いていた言語化できていないものに言葉を与えられた感覚を覚えました。神川さんの指導方針はやはり生徒たちありき。今いる生徒たちの状況に合わせて日々変えている姿を見て今一度自分自身を顧みる機会にもなりました。</p> |
| 2 神川塾での講義をふまえて、今後の教育活動でどのように実践していくか |
| <p>今回の神川塾での講義をうけ、今後はより一層生徒たちと真摯に向き合う初心を思い出して体当たりしていきたいと思うようになりました。よくも悪くも教員でいることに慣れてしまい、現状に満足する自分もいました。その自分が少しでも前進するきっかけになればと受講したこともあり、自分の教育活動を改めて考える機会となりました。今後は自分自身のレベルアップもそうですが「目の前にいる生徒たちは無限の可能性を持っている」ことを胸に教員として日々邁進していきます。</p> |
| 3 本日の講義全体の感想 |
| <p>今回は神川先生はじめ田中先生の後援もあり開催することができたと存じております。この回をより様々な人に知ってもらえるように自分も周りの友人や同僚と情報共有をしながら日々の生活を送っていきたいと思います。</p> |
| 4 今後の明治大学教育会との関わりについて |
| <p>今回私は教育会がらみのイベントに参加させていただくことがはじめてだったので、今後の関りについてわからない部分も多いですが、教員 OB も多いこの大学の教育会がより発展することを祈っています。</p> |